

箱式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.3 UpGrade ／(旧基準) Ver.8

箱式橋台の設計計算、
耐震・補強設計プログラム

●H29道示対応
プログラム価格
¥297,000
(税抜¥270,000)
底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥55,000
(税抜¥50,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜¥254,000)
●旧基準
プログラム価格
¥218,680
(税抜¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥38,500
(税抜¥35,000)
Windows 8/10対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。落橋防止構造、突起の考慮、橋座・踏掛版・翼壁・杭本体・フーチング補強(増し杭工法)・地覆などの設計をサポートしています。

- 躯体形状:受け台付き、受け台一体型(壁壁しぼり指定に対応)
- 壁壁:三辺固定版、T形梁による照査、底版部:四辺固定版による照査
- 置き換え基礎の安定照査、段差フーチングの設計、直角方向の安定計算が可能
- 直接基礎では地盤支持力検討、突起を考慮した滑動照査が可能
- 杭基礎では杭本体の設計、許容支持力、杭頭結合部照査、杭基礎時の安定計算
における杭頭カットオフ、せん断照査、杭体断面変化に対応

- 軽量盛土、多層地盤を考慮した安定計算、部材設計(胸壁、壁壁、翼壁)に対応
 - 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動設計が可能
- 【底版、翼壁拡張オプション】**
- 杭基礎時の底版中央部照査、直接基礎・杭基礎時の底版中央部のレベル2照査
 - 翼壁の設計において、平板解析に対応

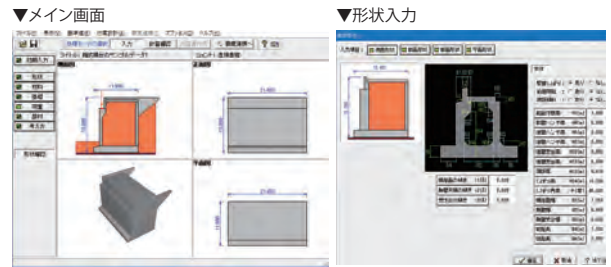
部分係数法・H29道示対応

- H24道示対応製品の「箱式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応
- 胸壁、翼壁、壁壁(前壁、後壁、側壁、隔壁)部材の地震時温度変化荷重(D+TH+EQ)ケースの照査対応
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「深礎フレームの設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」と連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能

旧基準

道示 IV (H24.3)、設計要領(H18.4)に基づいて、箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。

- 底版剛体照査、底版のせん断補強鉄筋比の照査、底版の補強設計(直接基礎、杭基礎)、レベル2底版設計時、任意荷重を考慮が可能
- レベル2地震時の安全性判定が可能、杭基礎連動では2.5次元の設計が可能



Ver.3 改訂内容 2021年3月31日リリース

1. 杭基礎設計便覧(令和2年9月)に対応
2. 部材種類の選択の拡張
2. 震度算出-下部工-杭基礎製品の計算書統合出力に対応

ラーメン式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.3 UpGrade ／(旧基準) Ver.8

静定構造物であるラーメン式橋台の設計計算、耐震・補強
設計プログラム

●H29道示対応
プログラム価格
¥297,000
(税抜¥270,000)
底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥33,000
(税抜¥30,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜¥254,000)
●旧基準
プログラム価格
¥218,680
(税抜¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥23,100
(税抜¥21,000)
Windows 8/10対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

形状から自動的に骨組解析を行います。橋座の設計、踏掛版、突起の考慮、翼壁の設計、杭本体の設計などをサポートしています。

- 各部材毎に温度変化、乾燥収縮を考慮した設計検討可能
- 橋座の設計、踏掛版の設計、翼壁の設計
- 直接基礎:荷重の偏心を考慮した地盤の支持力検討、突起を考慮した滑動照査
- 置換基礎を設置し、滑動・地盤反力度を考慮可能

- 杭基礎:許容支持力算出、杭本体の設計、杭頭と底版の結合部の照査
 - 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動可能
- 【翼壁拡張オプション】**
- 翼壁の設計において、平板解析に対応

部分係数法・H29道示対応

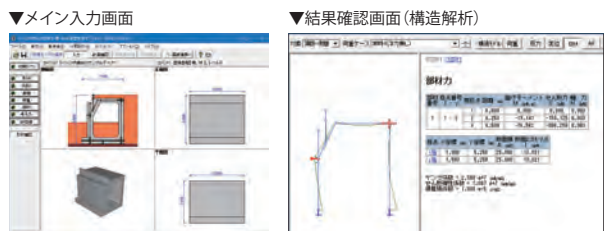
- H24道示対応「ラーメン式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- ラーメン部材(前壁、後壁、頂版、桁受台、底版中央部)のほか、前後趾、胸壁、翼壁等の部材照査が可能
- ラーメン部材の隅角部では、端接合部の照査が可能
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応

Ver.3 改訂内容 2021年3月31日リリース

1. 杭基礎設計便覧(令和2年9月)対応
2. 部材種類の選択(一般/気中/水中)の拡張
3. 震度算出-下部工-杭基礎製品の計算書統合出力対応
4. 受け台のコーベルとしての照査対応

旧基準

- 保有水平耐力法によるレベル2地震時の前趾・後趾・底版中央部照査
- 底版下面の段差フーチング・前後趾、底版中央部の厚さが違う形状サポート
- 底版を増厚・増幅する補強設計、底版剛体照査の検討可能



▼調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数入力画面(H29)

